

◆障害者総合支援法の対象として検討する疾病(第2次分)(案)3月30日検討分<2>

注) 疾病名は、今後の整理により変更する可能性があります。

【本資料における検討内容】

第10回指定難病検討委員会において、現時点で指定難病の要件を満たすことが明らかでない疾病とされたもののうち、

- ①「発病の機構が明らかでない(※他の施策体系が樹立している疾病を含む)」ことについて要件を満たすことが明らかでない
 ②「患者数が本邦において一定の人数に達しない」ことについて要件を満たすことが明らかでない
 とされた疾病について、障害福祉サービスの対象疾病の要件を満たすかどうかを検討。

①「発病の機構が明らかでない」ことについて要件を満たすことが明らかでない疾病
(※他の施策体系が樹立している疾病を含む)とされた疾病

●障害者総合支援法の対象疾病の要件についての検討結果

* 平成25年4月から障害者総合支援法の対象となっていた疾病

番号	病名	障害者総合支援法の対象疾病の要件			要件の 適否
		治療方法	長期の療養	客観的な診断基準	
A-30	急性壊死性脳症	未確立	必要	あり	○
A-37	急性網膜壊死	未確立	必要	あり	○
A-84	先天性風疹症候群	未確立	必要	あり	○
A-99	短腸症候群	未確立	必要	あり	○
A-100	腸間膜静脈硬化症候群	-	必要なし	あり	×
A-101	特発性角膜内皮炎 ※サイトメガロウイルス角膜内皮炎に限る	未確立	必要	あり※	○
A-105	びまん性汎細気管支炎 *	未確立	必要	あり	○
A-109	副腎腺腫	確立	必要なし	なし	×
A-113	ヘパリン起因性血小板減少症	未確立	必要	あり	○
A-114	ヘモクロマトーシス	未確立	必要	あり	○
A-131	薬剤性過敏症症候群	未確立	必要	あり	○
A-133	優性遺伝形式をとる遺伝性難聴	未確立	必要	あり	○
A-138	両側性小耳症・外耳道閉鎖症	未確立	必要	あり	○
A-139	劣性遺伝形式をとる遺伝性難聴	未確立	必要	あり	○

出典:「障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス等利用者の対象範囲に関する研究」
 (平成26年度厚生労働科学研究費補助金 研究代表者 江藤文夫)

●障害者総合支援法の対象疾病の要件について検討を行うためのデータが現時点で明らかでない疾病
(他の施策体系が樹立している疾病を含む)

* 平成25年4月から障害者総合支援法の対象となっていた疾病

番号	病名
A-1	Bリンパ芽球性リンパ腫
A-2	Gorlin症候群
A-3	NK(ナチュラルキラー)細胞白血病
A-4	Tリンパ芽球性リンパ腫
A-5	T細胞リンパ芽球性白血病
A-6	VIP産生腫瘍
A-7	悪性胸腺腫
A-8	悪性黒色腫
A-9	悪性骨巨細胞腫
A-10	悪性神経鞘腫
A-11	悪性ラブドイド腫瘍
A-12	異型奇形腫瘍/ラブドイド腫瘍
A-13	異形成性腫瘍
A-14	異所性副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)産生症候群
A-15	インスリノーマ
A-16	ウィルムス(Wilms)腫瘍・腎芽腫
A-17	横紋筋肉腫
A-18	外耳中耳奇形に伴う難聴
A-19	下垂体腺腫
A-20	ガストリノーマ
A-21	家族性腺腫性ポリポージス
A-22	褐色細胞腫
A-23	滑膜肉腫
A-24	カルシフィラキシス
A-25	カルチノイド症候群
A-26	肝芽腫
A-27	肝細胞癌
A-28	気管支腫瘍
A-29	奇形腫(頭蓋内及び脊柱管内に限る)
A-31	急性巨核芽球性白血病
A-32	急性骨髄性白血病、最小分化
A-33	急性骨髄単球性白血病
A-34	急性赤白血病
A-35	急性前骨髄球性白血病
A-36	急性単球性白血病
A-38	胸膜肺芽腫
A-39	グルカゴノーマ
A-40	血球貪食性リンパ組織球症
A-41	血小板減少症(脾機能亢進症による)
A-42	血友病A
A-43	血友病B
A-44	膠芽腫
A-45	甲状腺癌
A-46	骨髄異形成症候群 *
A-47	骨髄線維症 *
A-48	骨軟骨腫症
A-49	骨肉腫
A-50	混合性胚細胞腫瘍

番号	病名
A-51	視床下部過誤腫
A-52	脂肪肉腫
A-53	若年性骨髄単球性白血病
A-54	絨毛癌
A-55	上衣腫
A-56	上咽頭癌
A-57	松果体腫
A-58	神経芽腫
A-59	神経鞘腫
A-60	神経節芽腫
A-61	神経節膠腫
A-62	神経節腫
A-63	腎細胞癌
A-64	心臓腫瘍
A-65	腎明細胞肉腫
A-66	臍芽腫
A-67	髄芽腫
A-68	髄膜腫
A-69	頭蓋咽頭腫
A-70	頭蓋内胚細胞腫瘍
A-71	性索間質性腫瘍
A-72	成熟B細胞リンパ芽球性白血病
A-73	成熟B細胞リンパ腫
A-74	成熟を伴う急性骨髄性白血病
A-75	成熟を伴わない急性骨髄性白血病
A-76	成人型ランゲルハンス細胞組織球症 *
A-77	脊索腫
A-78	摂食障害 *
A-79	線維形成性小円形細胞腫瘍
A-80	線維肉腫
A-81	前駆B細胞リンパ芽球性白血病
A-82	腺腫様甲状腺腫
A-83	先天性フィブリノーゲン欠乏症
A-85	先天性プロトロンビン欠乏症
A-86	仙尾部奇形腫
A-87	第V因子欠乏症
A-88	第VII因子欠乏症
A-89	第X因子欠乏症
A-90	第XI因子欠乏症
A-91	第XII因子欠乏症
A-92	第XIII因子欠乏症
A-93	退形成性星細胞腫
A-94	胎児性癌
A-95	唾液腺癌
A-96	多胎芽腫
A-97	多発性内分泌腫瘍症1型
A-98	多発性内分泌腫瘍症2型
A-102	軟骨芽腫

●障害者総合支援法の対象疾病の要件について検討を行うためのデータが現時点で明らかでない疾病
 (他の施策体系が樹立している疾病を含む) (つづき)

* 平成25年4月から障害者総合支援法の対象となっていた疾病

番号	病名
A-103	軟骨肉腫
A-104	びまん性星細胞腫
A-106	肥満低換気症候群 *
A-107	フォン・ヒッペル・リンドウ病
A-108	フォンウィルブランド(von Willebrand)病
A-110	副腎皮質癌
A-111	腹膜偽粘液腫
A-112	平滑筋肉腫
A-115	胞巣状軟部肉腫
A-116	乏突起神経膠腫
A-117	ホジキン(Hodgkin)リンパ腫
A-118	慢性移植片対宿主病
A-119	慢性骨髄性白血病
A-120	慢性骨髄単球性白血病
A-121	慢性腎盂腎炎
A-122	未分化神経外胚葉性腫瘍(中枢性のもの)
A-123	未分化神経外胚葉性腫瘍(末梢性のもの)
A-124	未分化大細胞リンパ腫

番号	病名
A-125	未分化肉腫
A-126	未分化胚細胞腫
A-127	脈絡叢乳頭腫
A-128	明細胞肉腫(腎明細胞肉腫を除く)
A-129	網膜芽細胞腫
A-130	毛様細胞性星細胞腫
A-132	ユーイング(Ewing)肉腫
A-134	溶血性貧血(脾機能亢進症による)
A-135	卵黄囊腫
A-136	ランゲルハンス細胞組織球症 *
A-137	リフラウメニ病

② 「患者数が本邦において一定の人数に達しない」ことについて要件を満たすことが明らかでない疾病とされた疾病

●障害者総合支援法の対象疾病の要件についての検討結果

* 平成25年4月から障害者総合支援法の対象となっていた疾病

番号	病名	障害者総合支援法の対象疾病の要件			要件の 適否
		治療方法	長期の療養	客観的な診断基準	
D-1	Microscopic Colitis症候群	未確立	必要	あり	○
D-2	萎縮型加齢黄斑変性 *	未確立	必要	あり	○
D-3	円錐角膜	未確立	必要	あり	○
D-4	家族性高コレステロール血症(ヘテロ接合体)	未確立	必要	あり	○
D-9	原発性アルドステロン症 *	確立	必要	あり	×
D-10	原発性局所多汗症	未確立	必要	あり	○
D-18	ダウン(Down)症候群	未確立	必要	あり	○
D-19	特発性正常圧水頭症 *	未確立	必要	あり	○
D-20	突発性難聴 *	未確立	必要	あり	○
D-23	ペルーシド角膜辺縁変性症	未確立	必要	あり	○

出典:「障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス等利用者の対象範囲に関する研究」
(平成26年度厚生労働科学研究費補助金 研究代表者 江藤文夫)

●障害者総合支援法の対象疾病の要件について検討を行うためのデータが現時点で明らかでない

* 平成25年4月から障害者総合支援法の対象となっていた疾病

番号	病名
D-5	川崎病
D-6	気管支喘息
D-7	脚ブロック
D-8	狭心症
D-11	コレステリルエステル転送蛋白欠損症(CETP)
D-12	心筋梗塞
D-13	腎血管性高血圧
D-14	腎尿管結石
D-15	心房細動

番号	病名
D-16	心房粗動
D-17	前縦靭帯骨化症 *
D-21	橋本病
D-22	バセドウ(Basedow)病
D-24	慢性腎不全(急性尿細管壊死または腎虚血による)
D-25	慢性腎不全(腎腫瘍による)
D-26	慢性膵炎 *
D-27	2型糖尿病